

# 第6学年「家庭科」シラバス

6年生ではこんな学習をします

## 学習の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的知識および技能を身につけます。  
家庭生活を大切にしている心情をくみ、家族の一員として生活をよくしようとする実践的な態度を育てます。

## 学習の方法

製作や調理などの実習や調査等の実践的・体験的な学習を多く取り入れます。  
身近な生活の課題に気づき、意識をもって追究し解決のための方法を探るなどの学習を行います。

## 学習の評価

家庭科では次の観点で評価します。  
「進んで学習ができる。」  
授業への参加態度、提出物、発表など  
  
「家庭科の学習を自分なりに工夫しようとする。」  
行動観察、発表、プリント、作品など  
  
「生活自立に必要な基礎的スキルが身に付いている。」  
作品、実習の様子、プリント、テストなど  
  
「衣食住などの生活に必要な基礎的知識が身に付いている。」  
テスト

## 年間の学習計画

	学習する単元	学習の内容
前期 28時間	生活時間を見直してみよう	生活時間の有効な使い方を考え、工夫します。
	1 見直そう! 毎日の食事 (1) どんな食べ物を食べているのかな (2) ご飯とみそ汁をつくろう (3) おかずの必要性を考えよう	日常の給食に使われている食品を調べ、グループ分けします。 日本の伝統的な食事であるご飯とみそ汁について調べ、調理します。 栄養のバランスを考えておかずを考えます。
	2 つくろう! さわやか生活 (1) 暑い季節を気持ちよく過ごそう (2) 衣服の着方を考えよう (3) 衣服の手入れをしよう (4) 生活に役立つものを作ろう	暑い季節を気持ちよく過ごすための工夫を考えます 衣服の働きや生活に合った着方を考えます。 衣服の手入れの仕方を調べ、洗濯をします。 エプロンを縫いや手順を工夫して製作する。
後期 27時間	3 まかせてね! きょうのごはん	栄養的なバランスを考え1食分の食べ物を選ぶ。
	(1) 家族の喜ぶおかずをつくろう	家族のために、栄養的にバランスのよい食事を考え作ってみます。
	(2) 楽しい食事をくふうしよう	楽しい食事するために、どんな工夫をしたらよいか考えます。
	4 くふうしよう! 季節に合う暮らし (1) 季節に合うくらしを考えよう (2) 快適な住み方をくふうしよう	季節の変化に合わせてどのような生活を工夫しているか考えます。 快適に住むために、どのような工夫をすればよいか調べます。
	5 伝えよう! ありがとうの気持ち (1) できるようになったことをふり返ろう (2) 家庭へ地域へふれあいを広げよう  (3) わたしの気持ちを伝えよう	2年間の家庭科の学習で、出来るようになったことを振り返ります。 家族や身近な人たちとどのように協力したらよいか考えます。 お世話になった人たちに感謝の気持ちを伝える方法を考えます。
	これからの生活に向けて	サンドイッチを作って、気持ちを伝えます。